



じゃがいもの種まき

春休み中の4月4日と5日に、近くの農家の方に全面的な支援をいただき、畑に種芋を蒔きました。二日間にわたって実施したので多くの子が参加することができました。種芋はそれなりに大きいので、子どもたちも持ちやすかったようで、次から次へと種芋を畑に並べることができました。この後は、イモが育つのを観察し、土の中でイモが大きくなったタイミングを見計らってイモ堀をすることになります。みんなで育てたイモは芋煮会の材料になります。



5月の主な活動

- 1日(水)避難訓練・安全点検
- 1日～4日 体力づくり(水梨小体育館)
- 25日(土)地域交流(水梨キッズかふえ)
- ※5月のお楽しみは徳仙丈のツツジです。
開花と天候を見計らってツツジの花見をします。



勉強会

春休み期間中は、宿題のある子はまず宿題に取り組みます。宿題がなくても、パズルなどに取り組む子もいます。また、手指の練習なども取り入れて、誰もが落ち着いて何かに挑戦する時間を確保しています。



水梨小体育館

春休み中の午後は、水梨小学校の体育館をお借りして体力づくりの活動をしました。なんせ広い体育館ですから、子どもたちは伸び伸びと活動しました。運動に参加できなくても体育館のフロアを歩いたりもしました。5月1日～4日(土)も借りています。



つぼみ菜摘み体験

いっぽのご近所の方から、つぼみ菜を摘む体験をさせていただきました。ハウスの中は暖かく、一足先に春を楽しむことができました。利用者が違うということで、何度かおじゃましました。地域の方にも温かく見守られていて、ありがたいことです。



ママかふえ



お母さんたちの交流の場として、4月16日に実施しました。もちろん利用のあるなしは関係ありません。どなたでも参加可能です。

今回は2回目ということもあってか、かなり、話に花が咲きました。お母さんたちの子どもを思う気持ちは、私たちスタッフの意欲にもつながっています。

特技紹介

Aさん

職員のAさんは長い間、三味線を習っています。三味線の腕前が認められたのか、4月末には、東京の歌舞伎座の舞台に立つことができたそうです。もちろん演奏者として。



まほうのたわし

子どもたちが毎月、お世話になっている水梨キッズかふえが一周年ということのを記念して、今回はバザーでした。いっぽでも、みんなでてづくりした「まほうのたわし」を販売しました。感謝のメッセージは利用者のK君の手書きをシールにしたものです。完売でした。



《編集後記》個人的なことですが、芸能人のナナオさんと親しくさせていただいています。モデルではなく、漫談・司会のナナオさんです。震災直後に支援にお出でになり、それ以来のおつきあいです。現在でも、東京でチャリティショーを開催し、そこで集まった資金を元に、毎年、被災地に足を運んで下さっています。チャリティショーにはナナオさんの仲間の民謡歌手やマジシャンが参加しているのですが、美川憲一さんやふくだこうへいさんもステージに上がることがあります。被災地でがんばっている子どもたちやその家庭の話をする、7月6日にいっぽを訪問して下さいます。みなさんプロの方々なので楽しみです。詳細は後でお知らせします。